



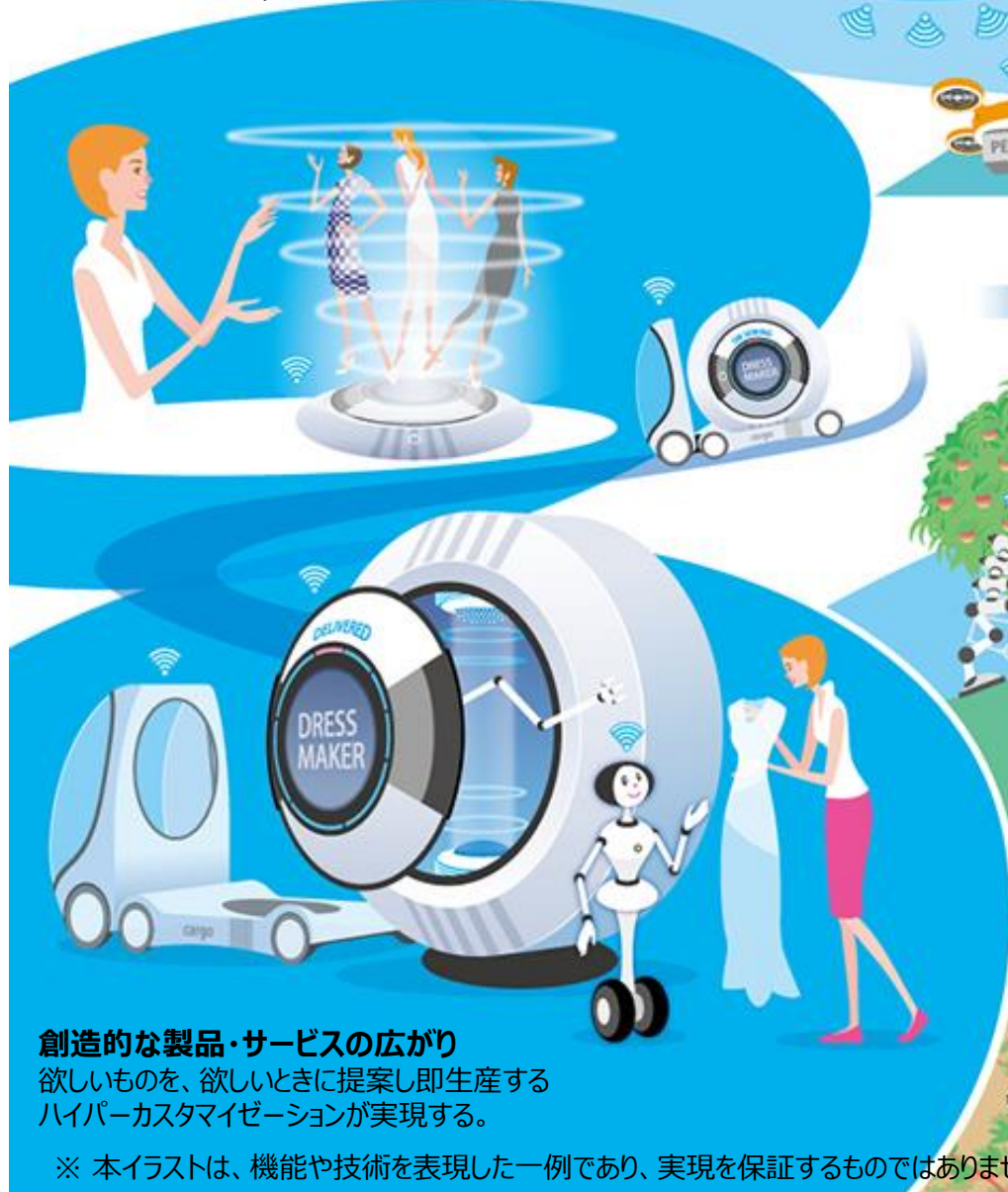
人工知能の社会実装イメージイラスト

ロボット・AI部

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

潜在意識をカタチに

ビッグデータと個人の嗜好や潜在ニーズを分析し、対話機能を備えたAR/VRを活用して求めるものを具現化する。



創造的な製品・サービスの広がり

欲しいものを、欲しいときに提案し即生産するハイパーカスタマイゼーションが実現する。

※ 本イラストは、機能や技術を表現した一例であり、実現を保証するものではありません。

高付加価値品を手元に

自律型多能工ロボットが付加価値を生む作業を行う。例えば、効率的かつ徹底的な無農薬野菜を生産できるようになる。また、様々なセンシングデータの分析と予測に基づく農地管理が可能になり、理想的な農産物の需要に応じた生産と供給が行える。



身体をデザイン

個別化医療の高度化が進み、各種疾病の早期発見、治療法提示がされると共に、生体機能を代替する人工臓器等が身近になり、高齢になっても健康的な生活を楽しむことができる。



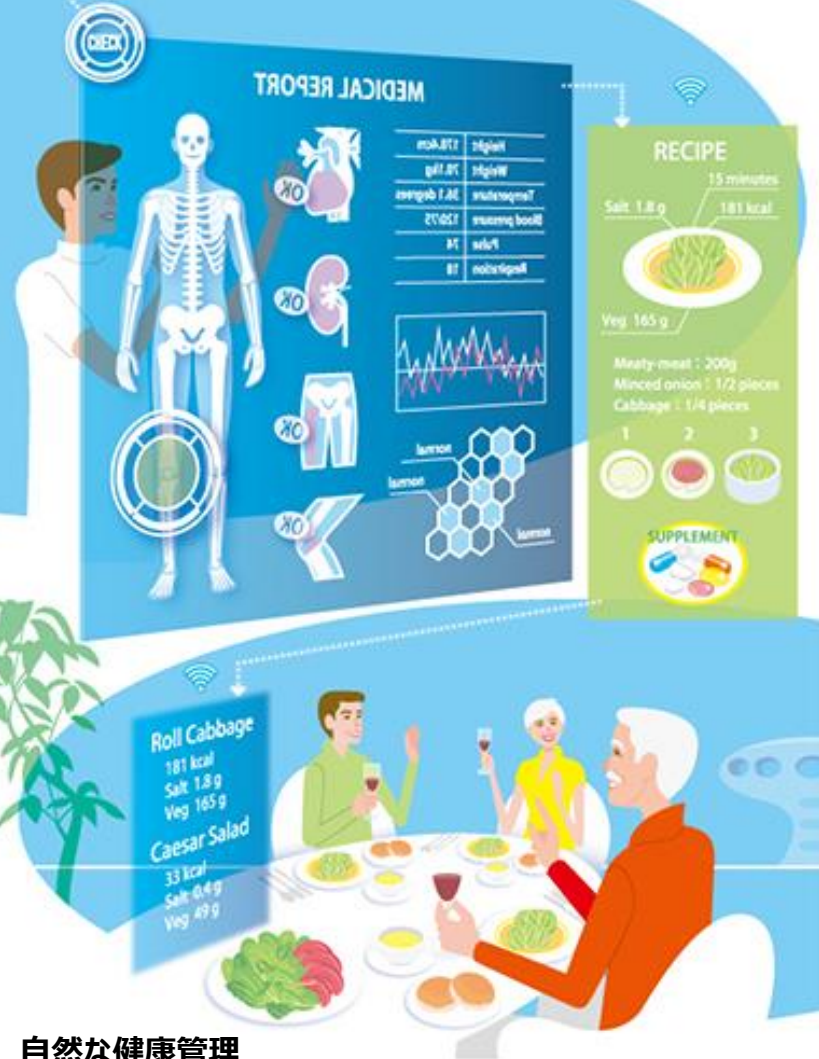
高度医療の利用簡便化

ナノロボットの開発が進み、様々な疾病に対する非侵襲の治療が普及する。

※ 本イラストは、機能や技術を表現した一例であり、実現を保証するものではありません。

自然な健康管理

日常生活の中で生体情報が記録され、病歴・投薬歴・副作用情報等と共に分析されることで、健康状態の変化や疾病リスクが予測されたり、個人の状況に応じた予防措置・健康アドバイスが提示される。



自然な健康管理

健康状態や体調、嗜好に合わせた個人仕様の栄養素や機能性食品が配合された食事が提供され、無理なく健康管理ができる。



人・モノの移動の時間コスト、エネルギーコストの最小化
移動機器や施設に設置されているセンシングデータをリアルタイムに分析することにより都市交通・地域交通が最適化された形で制御される。また、個々人に応じて快適な移動手段・移動経路を選択できるようになる。

サイバー空間とフィジカル空間の融合

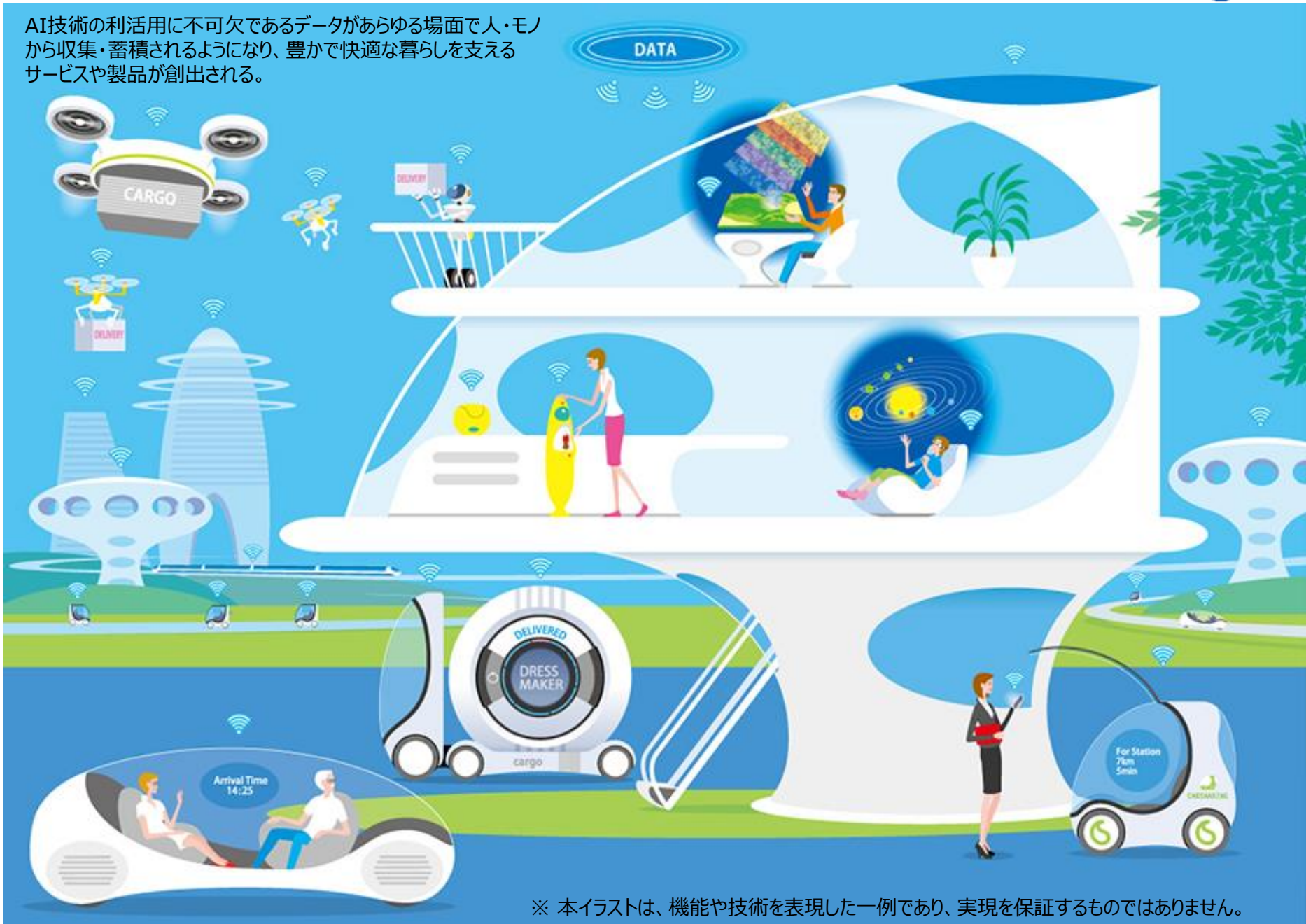
多言語複数人での音声コミュニケーション技術やAR/VR等を活用することにより、遠隔地にいる人同士のリアルタイムな意思疎通ができるようになる。

移動困難者の解消・人的要因による死亡事故ゼロ & 移動の高付加価値化

自動運転車が普及し、誰もが目的地までの移動時間を自由に活用しながら快適に移動できるようになる。また、車両センサーからのデータがリアルタイムに集積・分析され、異常事態回避につながる。

※ 本イラストは、機能や技術を表現した一例であり、実現を保証するものではありません。

AI技術の活用により不可欠であるデータがあらゆる場面で人・モノから収集・蓄積されるようになり、豊かで快適な暮らしを支えるサービスや製品が創出される。



※ 本イラストは、機能や技術を表現した一例であり、実現を保証するものではありません。